

「過ぎ越しの血と十字架の血」
出エジプト記 5章～13章
～モーセの生涯（3）～

はじめに

今回は、モーセの生涯の3回目です。モーセは、旧約聖書を代表する人物です。彼は、ユダヤ人の家に生まれましたが、エジプトで王女の息子として40年を過ごした後、ミデヤンの荒野で40年間牧畜生活をします。80歳になったとき、神はイスラエルの民をエジプトから救い出すために指導者としてモーセを選びました。3・4章ではモーセが神召命を受けた時のことが記されていますが、今回は、出エジプト記5章から13章まで、「パロとの交渉と過ぎ越し」を学びましょう。

中心聖句「その血は、あなたがたのいる家のうえであなたがたのためのしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越す。わたしがエジプトの地を打つとき、滅ぼす者のわざわいは、あなたがたには起こらない」（12:13）。

1 過ぎ越しまでのあらまし。

（1）パロは苦役を重くする（5章）。

モーセとアロンは、エジプト王パロのところに行き、「イスラエルの神、主が「わたしの民を行かせ、荒野でわたしのために祭りをさせよと言っています」と言いますが、パロは聞き入れず、かえってイスラエルの民の苦役を重くし、れんがを作るためのわらをも自分たちで集めるように命じました。ひどい苦しみに遭うようになった民は、モーセとアロン会って、このようになったのはモーセとアロンのせいだと言って、彼らを責めました。

（2）民はモーセに聞かず（6章）

民はモーセに反抗したため、モーセは神に訴えます。神は「わたしは主である。わたしはあなたがたをエジプトの苦役の下から連れ出し、労役から救い出す。」とモーセを励まします（6:2-8）。しかし民は、失意と激しい労働のために、モーセの言うことを聞くことができませんでした（6:9）。

（3）数々のしるし（6章-10章）。

モーセとアロンは、主に命じられたように、パロのところに行き、数々のしるしを行いました。

杖を投げると蛇に（7:8-13）

ナイル川が血に（7:17-25）

かえるがエジプト全土に（8:1-15）

ぶよが全土に（8:16-19）

あぶが全土に（8:20-32）

家畜に激しい疫病が（9:1-7）

人と獣にうみの出る腫物が（9:8-12）

激しい雹を降らせる (9:18-35)

いなごの大群 (10:3-20)

三日間の闇 (10:21-22)

2 主の過ぎ越しと十字架の血 (11-12 章)。

(1) エジプトの初子の死。

最後のしるしは、エジプトの初子、パロの初子から奴隷の初子、家畜の初子まで、みな死ぬというものでした。

(2) イスラエル人の救い。

主がエジプトの初子を打つとき、イスラエルの初子を救うために、主は家族ごとに羊一頭を用意するようにお命じになりました。そして、羊を殺し、その血を家の二本の門柱とかもいにつける。そして、肉を焼き、種入れないパンと苦菜を添えて食べる。

家の血がイスラエル人のしるしとなり、主はその血を見て、その家を過ぎ越す。そのことが起こり、ついにパロは「お前たちもイスラエル人も出て行け。行って主に仕えよ」と言って、強制的にイスラエルをエジプトから追い出しました。イスラエル人はエジプト人から金銀の飾りや着物をもらい、旅立ちました。壮年の男子だけで60万人、それに女子供、青年、外国人もいました。

このようにして、主はイスラエル人をエジプトから救い出されました。そして過ぎ越しの出来事は、「過ぎ越しの祭り」として、以後イスラエル最大の祭りとして守られ続けてきました。

適用：さて、この「過ぎ越し」は、イスラエルの民がエジプトから救い出された歴史的な出来事ですが、これはまた、広く神の民がサタンから救い出されるという「罪からの救いのしるし」でもありました。

イエス様は、「過ぎ越しの祭り」の時に最後の晩餐をし、十字架に付けられたのです。過ぎ越しで、人々は羊を殺し、その血を家の門柱とかもいにぬり、自分たちが神に選ばれた民であることを表しました。そして、主はその血を見てその家の人々を救ったのです。

エジプトでのイスラエルの奴隷の苦しみは、私たちのこの世での苦しみを表しています。私たちは、この世に生きていく間に、様々な苦しみに遭います。しかし、一番の苦しみは何でしょうか。多くの人々は気づいていませんが、あらゆる苦しみの元とも言うべきものがあります。私たちはその苦しみの元からは逃れることが出来ません。その奴隷になっているのです。その苦しみの元とは何でしょうか。聖書は、それを罪と読んでいます。

あるとき人々がイエス様に言いました。「私たちは奴隷なったことなどありません」。するとイエス様は、こうお答えになりました。「罪を行っている者はみは、罪の奴隷です」と。イエス様は「あなたがたは真理を知り、真理があなたがたを自由にします。ですから、子があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです」と言われました (ヨハ8:32-36)。

エジプトで、子羊の血が人々を救ったように、イエス様の血が私たちを救うの

です。イエス様は、私たちを人間の苦しみの元である罪から救うために、十字架でご自身の血を流されました。ですから、十字架を信じる者は、その身にイエス様の十字架の血を付けているのです。子羊の血のついている家を過ぎ越されたように、私たちを苦しみの元である罪の奴隷から救い、日々の罪の苦しみから解放して下さい。そして神様は最後の審判の時、イエス様の血を身につけている者を神のさばきから救い、永遠の神の国に入れて下さるのです。

結論

神様は、エジプトで苦しむ神の民を救うためにモーセを起こされました。そして、パロの激しい拒絶にもかかわらず、神様はイスラエルをエジプトの苦役から救い出されました。

神様はイエス様をこの世に送って下さいました。そして、その十字架の死と復活によって私たちを罪から救い出して下さいました。そして、いまイエス様を信じる者はだれでも救われるのです。

救い主として受け入れていない人への勧め。

あなたは、今日までイエス様を知らなかったかもしれません。しかし、イエス様はあなたを知っておられます。今日、今、イエス様のもとに帰っていらっしゃい。イエス様は、それを望んでおられます。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」（黙示録 3:20）

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」（使徒の働き 16:31）

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」（ヨハ3:16）

祈り

父なる神様。あなたの御子イエス・キリストを感謝します。

私は、あなたに罪を犯して来ました。地獄に投げ込まれても当然な人間です。

しかし、イエス様は私の罪のために十字架にかかり、私のために死んで下さいました。

あなたは、私のすべての罪を赦して下さいました。感謝します。

私は、いま、イエス・キリストを私の救い主、私の神として信じ、受け入れます。

あなたは、私をあなたの子として受け入れて下さることを感謝します。

今日からあなたに従っていきます。どうぞ、弱い私を導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。